講習会のお知らせ

前略

少しずつ暖かくなり、暖かい春を感じる今日この頃です
皆様方におかれましては、年度はじめで忙しく対応されていることと存じます。
今年度も山の辺病院にて臨床基礎、応用講習会を開催いたします。
皆さんにご参加いただければとお知らせを送らせていただいております。

２０１９年4月１４日(日) １３：００～１７：００にて基礎講習「観察評価治療反応の解釈」を行います。全身的な関係理解、各パーツの関連性、様々な脳に入る感覚情報のコントロール、治療反応の解釈と再度治療への切り替えし誘導を実技、体感中心に講習を行います新人入職、１、２年目の方はふるって御参加ください

２０１９年5月２６日(日)基礎講習「タッチング基礎講習会」ＰＴ山中、様々な治療の原点、介護の基礎となる感覚情報のコントロールを生理学、運動学、発達学、心理学を中心に実技を通じて体感しながら学びます。人間の脳に入る感覚全てを通じて（治療、介護に応じた「ふれあい：人と人との交流」をテーマ）に行います、すべての疾患対応の基礎となり臨床の土台をつくります

２０１９年6月９日(日)基礎講習「肩、頚、腰の痛みの評価治療（頭頚部、胸郭、体幹、脊柱の改善)」高齢者、運動器、中枢など、様々な痛みに対する治療と状態改善のアプローチを（頭頚部、脊柱、体幹）を軸に実技中心に行います。臨床に使えるよう講習します

２０１９年7月７日(日)応用講習会「ＡＤＬ改善「前編」手と上肢機能①ＰＴ山中：手と目と肩甲骨の動きの連動、OT 原:片麻痺者の麻痺側手のアプローチＩ　把持の促通とリーチ動作へ、今年度も OT 原先生と２回今年は７月、９月に上肢、手をテーマに行います。よろしくご参加ください

２０１９年8月１１日(日) 応用講習「顔面口腔、咽頭喉頭、嚥下咀嚼、発声、歌、構音」ＰＴ山中、歌（声帯、喉頭）を中心に構音、咽頭喉頭の評価治療を食事、嚥下咀嚼動作と頭頚部と全身のつながりを実技中心に講習します

２０１９年9月８日(日) 応用講習「ＡＤＬ改善「後編」手と上肢機能②ＰＴ山中：手と肩甲骨と骨盤の動きの連動、ＯＴ：非利き手として促通すべき要素、ＰＴ山中ＯＴ原、ＯＴ原との２回目、手と上肢機能をテーマにＰＴは肩甲骨と骨盤と手のつながりの分析、評価治療、ＯＴ原は非利き手のアプローチを行います、利き手が麻痺側ならニードも箸が持てるよう、字が書けるようにと明確ですが、非利き手が麻痺の場合はニードが不明確になる為難しいです。非利き手へのアプローチは興味深い所です。実技中心に行います。

２０１９年１０月６日(日) 応用講習会「正常発達の応用①（正常発達から学ぶ移動分析と評価治療)」ＰＴ山中、系統発生、個体発生を分析応用し移動の発達を考慮し、小児から高齢者までの評価治療の基盤を作ります。

２０１９年１２月１日(日) 応用講習「正常発達の応用（障害を持った子供の遊びと評価治療)」ＰＴ山中、正常発達を応用し、障害を持った子供の遊びについて評価治療を行います
２０２０年２月２３日(日) 応用講習「スポーツ動作分析と評価治療」ＰＴ山中
昨年に引き続き、スポーツ動作から学ぶことを講義します。昨年「ＡＤＬ動作とスポーツ動作の関連」「靴下の着脱とボーリングの投球動作の関連」「上衣をズボンに入れる動作とクラウチングスタートとの関連」「お菓子を食べる動作と卓球の動作の関連」等を行い、様々なスポーツ動作から応用し、脳卒中片麻痺や高齢者や肩凝り腰痛に応用しました。

１年を通じて様々なジャンルを越えて基礎、応用講習をします。心と体も、体の部分すべてが１人の人間としてつながっています。様々な視点で人間の可能性を深めます。スポーツ動作から学ぶ姿勢運動パターンや分析が高齢者や脳疾患のリハ（ADL 動作改善）に応用できます。赤ちゃんの発達や子供の遊びから学ぶことが、脳卒中や高齢者のリハにも応用できます。講習内容はみなさんのアンケートに応じて作ります。経験年数の高い方のアンケート内容も新人でも分かるように実技に変換して講習します
今後インターネットにも講習会申し込みをのせて行きます。ご利用ください、よろしくお願いいたします

山の辺病院　ＰＴ山中善詞